

<平成25年3月期決算参考資料>(連結)

	前期実績 平成24年3月期	当期実績 平成25年3月期 平成25年2月予想	次期予想 平成26年3月期
売上高	18,073 億円	18,151 億円 18,100	22,700 億円
営業利益	637 億円	674 億円 640	1,000 億円
<利益率>	< 3.5% >	< 3.7% >	< 4.4% >
	/	(増益要因) 台数・車種構成等 123億円 資材費等コスト低減 432億円 (減益要因) 為替 ▲34億円 販売費用 ▲161億円 その他 ▲323億円 対前年 変動計 37億円	(増益要因) 台数・車種構成等 280億円 為替 280億円 資材費等コスト低減 200億円 (減益要因) 販売費用 ▲260億円 その他 ▲174億円 対前年 変動計 326億円
経常利益	609 億円	939 億円 620	900 億円
<利益率>	< 3.4% >	< 5.2% >	< 4.0% >
当期純利益	239 億円	380 億円 130	500 億円
<利益率>	< 1.3% >	< 2.1% >	< 2.2% >
為替 (売上レート)	79 円/US\$ 111 円/1-口	82 円/US\$ 105 円/1-口	95 円/US\$程度 125 円/1-口程度
設備投資 (計上ベース)	710 億円	514 億円	800 億円
減価償却費	534 億円	503 億円	600 億円
研究開発費	550 億円	599 億円	730 億円
有利子負債残高	3,481 億円	3,644 億円	/
総資産	13,213 億円	14,528 億円	/
売上台数	1,072 千台	1,120 千台	1,363 千台
国内	184 千台	176 千台	322 千台
海外	888 千台	944 千台	1,041 千台
生産台数*	1,129 1,051 千台	1,122 千台	/
国内	586 586 千台	486 千台	/
海外	543 465 千台	636 千台	/
業績評価	/	増収・増益	/

*平成25年3月期より新カウントを採用し、新カウントの生産台数には中国での現地ブランド車を除いています。

〈平成25年3月期決算参考資料〉（単独）

	前 期 実 績 平成24年3月期	当 期 実 績 平成25年3月期
売 上 高	14,276 億円	13,834 億円
国 内	2,528 億円	2,487 億円
輸 出	11,748 億円	11,347 億円
営 業 利 益	151 億円	148 億円
〈 利 益 率 〉	〈 1.1% 〉	〈 1.1% 〉
		(増 益 要 因) 為 替 27億円 資材費等コスト低減 320億円 (減 益 要 因) 台数・車種構成等 ▲50億円 そ の 他 ▲300億円 対 前 年 変 動 計 ▲3億円
経 常 利 益	196 億円	753 億円
〈 利 益 率 〉	〈 1.4% 〉	〈 5.4% 〉
当 期 利 益	209 億円	387 億円
〈 利 益 率 〉	〈 1.5% 〉	〈 2.8% 〉
設 備 投 資 (計上ベース)	246 億円	316 億円
減 価 償 却 費	356 億円	341 億円
研 究 開 発 費	509 億円	559 億円
有 利 子 負 債 残 高	2,110 億円	2,239 億円
売 上 台 数	790 千台	773 千台
国 内	185 千台	176 千台
海 外	605 千台	597 千台
業 績 評 価		減収・増益

三菱自動車、2012年度決算及び2013年度通期業績見通しを発表

三菱自動車は本日、2012年度(2013年3月期)決算及び2013年度通期の業績見通しを発表しました。

1. 2012年度決算

(1) 業績概況

2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)の売上高は、卸売台数の増加などにより、前年度比78億円(0%)増の1兆8,151億円となりました。

営業利益は、新型車投入に伴う広告宣伝費等販売費の増加や、昨年12月に発動した軽自動車リコールなど市場措置費用の増加はあったものの、台数・車種構成等の改善に加え、資材費等コスト低減の寄与もあり、前年度比37億円(6%)増の674億円となりました。

経常利益は前年度比330億円(54%)増の939億円、また当期利益については、前年度比141億円(59%)増の380億円となりました。

(2) 販売台数

2012年度の販売台数は、前年度比14千台(1%)減の987千台となりました。

日本では、登録車の販売は前年並みとなった一方、モデル末期にある『eKワゴン』等の軽自動車の販売が振るわず、前年度比18千台(12%)減の134千台となりました。

北米は、昨年7月に現地生産を開始した『アウトランダースポーツ』(日本名:『RVR』)の米国での販売が前年を上回ったものの、前年度に生産を終了した米国市場向けモデル『エクリプス』、『エクリプススパイダー』、『エンデバー』の販売が減少したことなどから、前年度比21千台(20%)減の85千台となりました。

欧州は、新型『アウトランダー』の投入などによりロシアでは販売を伸ばした一方で、総需要が低迷している西欧地域での販売が前年を大きく下回ったことから、地域全体としては前年度比37千台(17%)減の181千台となりました。

アジア及びその他の地域については、北アジアなどでの減少はあったものの、昨年3月に『ミラージュ』を発売し販売を大幅に増加させているタイをはじめとしたアセアン地域が好調に推移したことに加え、中南米及び中東・アフリカ地域での販売も増加し、前年度比62千台(12%)増の587千台となりました。

2. 2013年度業績見通し

(1) 販売台数計画

2013年度は、日本での新型軽自動車(『eKワゴン』、『eKカスタム』)の投入や、2012年度に販売を開始したグローバル戦略モデル(新型『ミラージュ』、新型『アウトランダー』)の世界展開の本格化、新興諸国における現地生産車種の追加投入などを通じて販売台数増を実現する考えであり、前年度比182千台(18%)増となる1,169千台を計画しています。地域別の内訳は次のとおりです。

- 日本：148千台、前年度比14千台(10%)増
- 北米：100千台、前年度比15千台(18%)増
- 欧州：212千台、前年度比31千台(17%)増
- アジア及びその他の地域：709千台、前年度比122千台(21%)増

(2) 業績見通し

2013年度は、新型車投入に伴う販売費の増加や将来の成長に向けた開発費の増加などは見込まれますが、販売台数増を通じて増収を実現するとともに、引き続き費用削減や資材費等のコスト低減を推し進めることなどで利益の上積みを図り、以下のとおり、対前年度で増収・増益を目指します。

- 売上高：2兆2,700億円、前年度比4,549億円(25%)増
- 営業利益：1,000億円、前年度比326億円(48%)増
- 経常利益：900億円、前年度比39億円(4%)減
- 当期利益：500億円、前年度比120億円(32%)増

以上

【お問い合わせ先】

広報部 企業広報担当：地引、村田
企業広報代表 03-6852-4274

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的风险や不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

2012年度 決算説明会



『eK ワゴン』



『eK カスタム』

三菱自動車工業株式会社

2013年4月25日

2012年度 決算 及び 2013年度 通期業績見通し



青砥 修一

常務取締役 (CSR・管理・経理統括部門担当)

欧州債務問題長期化など厳しい事業環境ながらも増収増益

(単位: 億円, 千台)

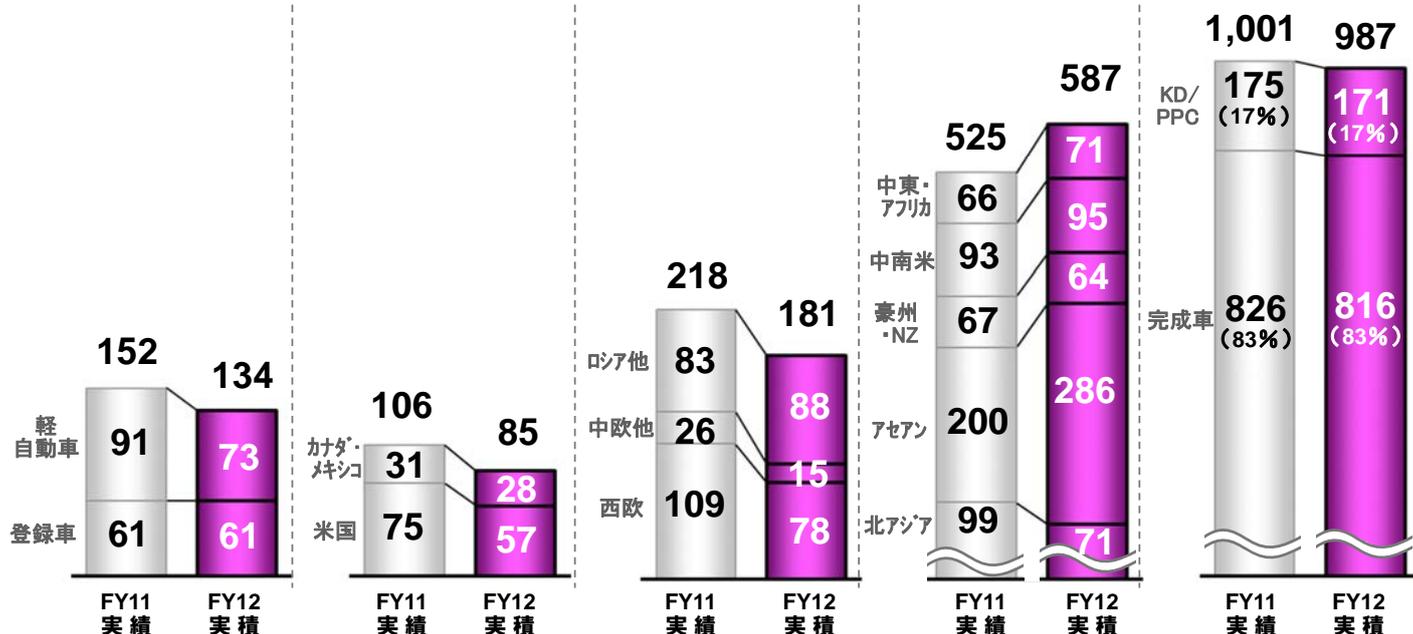
	FY11 実績①	FY12 実績②	差 ② - ①	FY12計画 '13/2/5 公表値
売上高	18,073	18,151	+ 78	18,100
営業利益	637	674	+ 37	640
経常利益	609	939	+ 330	620
当期利益	239	380	+ 141	130
販売台数 (小売)	1,001	987	- 14	1,010
販売台数 (卸売) うち OEM台数等	1,072 (87)	1,120 (79)	+ 48 (- 8)	1,121 (78)

※注) 12年度販売台数実績は速報値。

2012年度地域別販売台数実績【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
- 18 (- 12%)	- 21 (- 20%)	- 37 (- 17%)	+ 62 (+ 12%)	- 14 (- 1%)

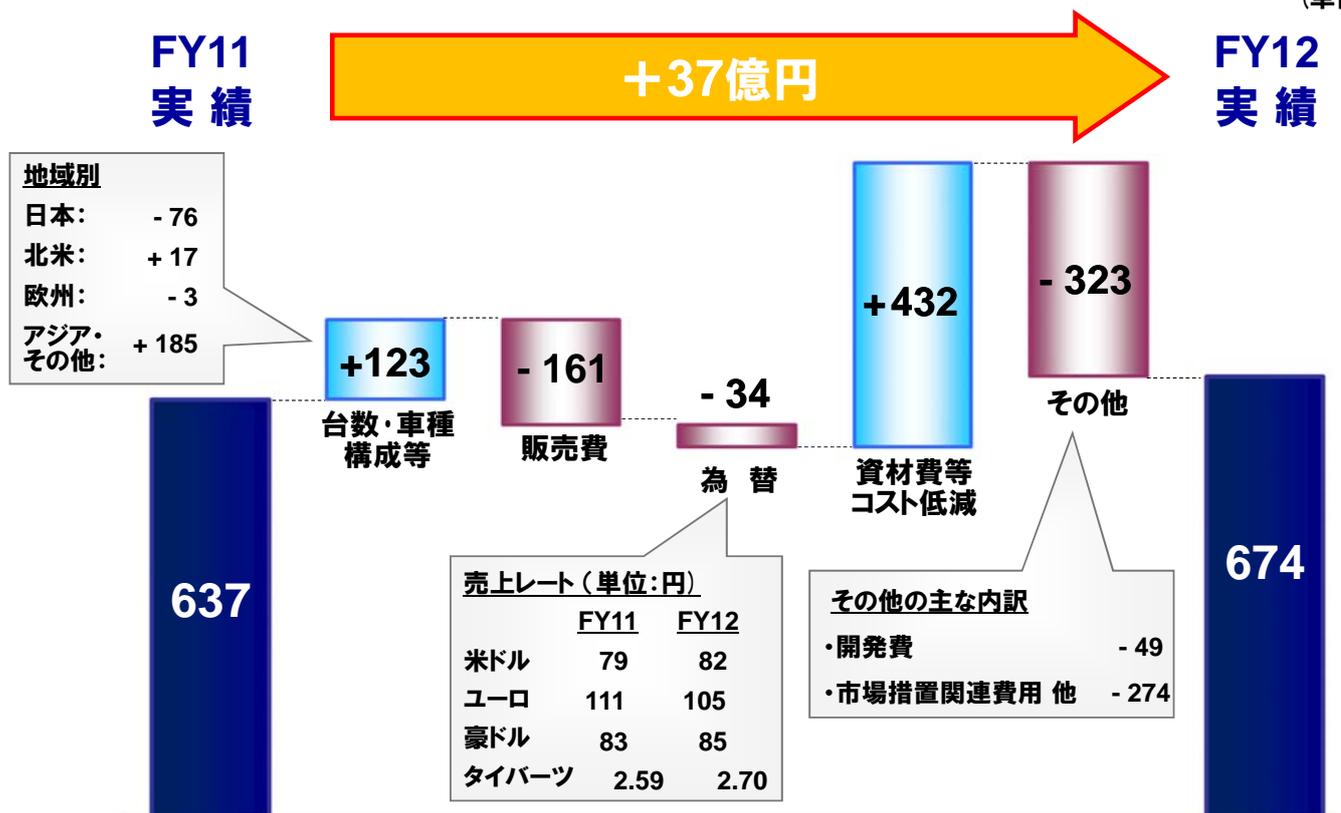
(単位: 千台、小売)



※注) 12年度販売台数実績は速報値。

2012年度営業利益増減分析【前年度対比】

(単位: 億円)



経常利益・当期利益【前年度対比】

(単位: 億円)

	FY11 実績①	FY12 実績②	差 ② - ①
営業利益	637	674	+ 37
営業外損益	- 28	+ 265	+ 293
経常利益	609	939	+ 330
特別損益 及び法人税等	- 370	- 559	- 189
当期利益	239	380	+ 141

広汽長豊株式売却益 : +114億円
 NedCar株式売却損 : -247億円

貸借対照表【前年度末対比】

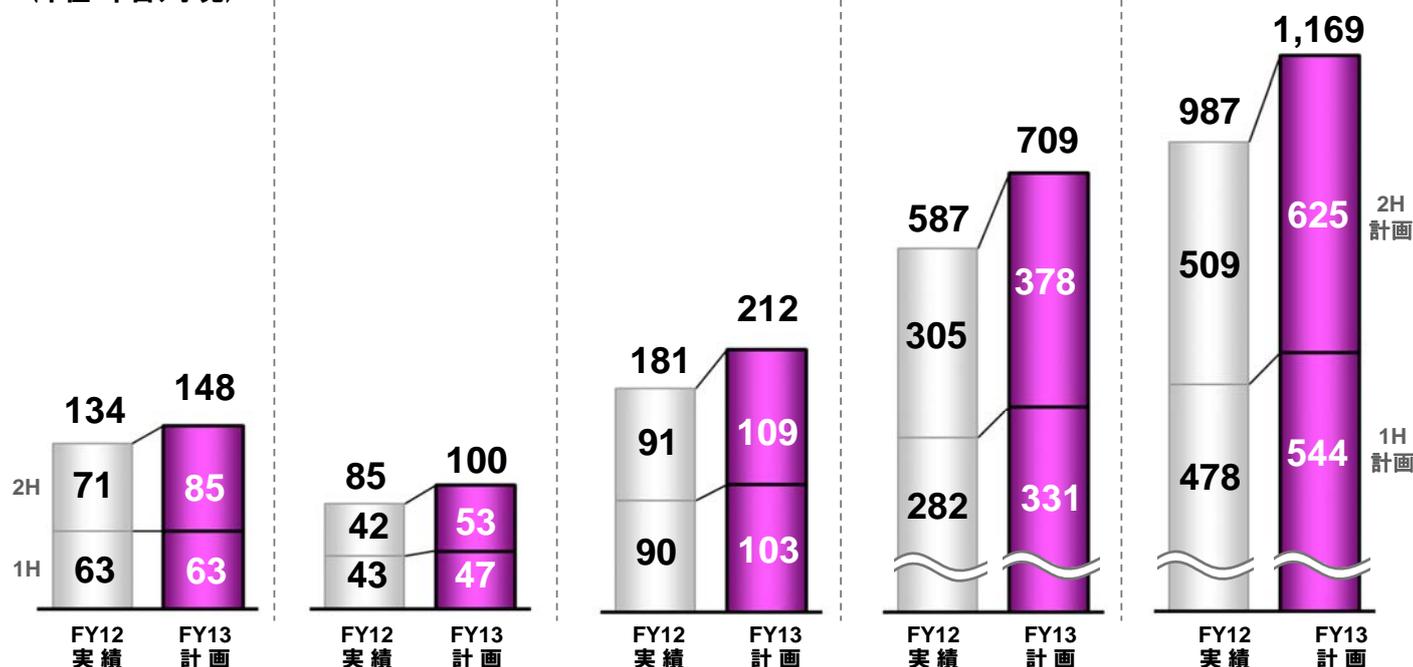
(単位: 億円)

	FY11末 ('12/3月末)	FY12末 ('13/3月末)	増減
資産合計	13,213	14,528	+ 1,315
うち 現金預金	3,116	4,095	+ 979
売上債権	1,462	1,496	+ 34
たな卸資産	1,875	2,023	+ 148
負債合計	10,557	11,016	+ 459
うち 仕入債務	3,174	3,138	- 36
有利子負債	3,481	3,644	+ 163
純資産合計	2,656	3,512	+ 856

2013年度 地域別販売台数計画【上期/下期別、前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
+ 14 (+ 10%)	+ 15 (+ 18%)	+ 31 (+ 17%)	+ 122 (+ 21%)	+ 182 (+ 18%)

(単位: 千台、小売)



※注) 12年度販売台数実績は速報値。

新型車投入とグローバル展開で販売台数増、増収増益を目指す

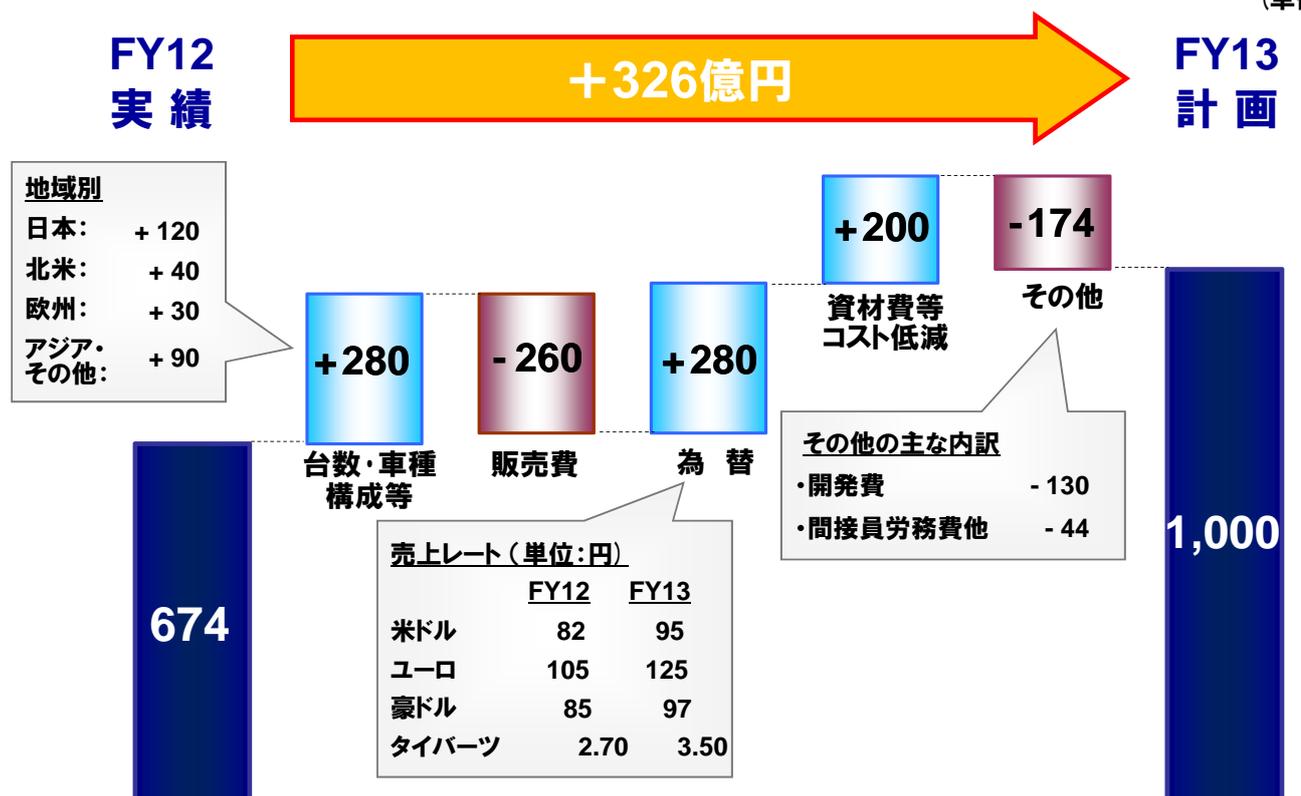
(単位: 億円, 千台)

	FY12 実績①	FY13 見通し②	差 ② - ①
売上高	18,151	22,700	+ 4,549
営業利益	674	1,000	+ 326
経常利益	939	900	- 39
当期利益	380	500	+ 120
販売台数(小売)	987	1,169	+ 182
販売台数(卸売)	1,120	1,363	+ 243
うち OEM・共同開発車等	(79)	(207)	(+ 128)
為替レート	実績	計画	
米ドル	82	95	
ユーロ	105	125	
豪ドル	85	97	
タイバーツ	2.70	3.50	

※注) 12年度販売台数実績は速報値。

2013年度営業利益見通し増減分析【前年度対比】

(単位: 億円)



2013年度の取り組み



益子 修
取締役社長

2013年度の位置づけ

2012年度：収益拡大のための種蒔きの年

- 『ミラージュ』『アウトランダー』『アウトランダーPHEV』など新型車投入
- タイ第3工場本格生産開始
- 広州汽車との新合併会社(広汽三菱汽車有限公司)設立・生産開始
- ロシア向け新型『アウトランダー』の現地生産開始
- 欧州工場売却

2013年度：「ジャンプ2013」の総仕上げの年であると共に次期中期経営計画への「つなぎの年」

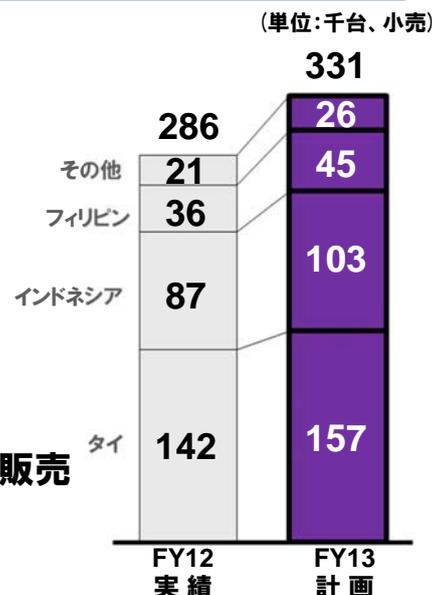
- 「ジャンプ2013」最終年度の業績目標以上の
営業利益1,000億円、当期利益500億円を計画

海外：『ミラージュ』『アウトランダー』『アウトランダーPHEV』などの世界展開
タイ・中国・ロシアなど新興国での現地生産モデル追加

国内：製造工場のコスト競争力確保、新型軽自動車投入による販売拡大

タイに次ぐアセアンの重要市場である、インドネシア・フィリピンの販売を拡大

- タイ
 - ・ 新型セダン 生産・販売開始
 - ・ 今後のアセアン市場拡大を見込み、現地生産能力増強
- インドネシア
 - ・ 現地生産開始した『アウトランダースポーツ』（日本名:『RVR』）の販売拡大
 - ・ 『ミラージュ』の販売拡大
 - ・ 13年度は10万台を超える計画
- フィリピン
 - ・ 『ミラージュ』、主力車種『トライトン』『パジェロスポーツ』の販売拡大と新型セダンの投入
 - ・ 13年度の販売台数は前年度比3割増



「アセアンチャレンジ12」に掲げた2015年度シェア12%達成に向け加速

アセアン主要5ヶ国[タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナム]のシェア

10年度 6.5% ⇒ 12年度 8.3% ⇒ 15年度 12%(目標)

新興市場での取り組み

- 中国
 - ・ 広汽三菱汽車『パジェロスポーツ』現地生産車種追加(7月)
 - ・ 13年度 販売台数 前年度比2倍の8万9千台の計画
- ロシア
 - ・ 『パジェロスポーツ』 現地生産車種追加(7月)
 - ・ 13年度 販売台数 前年度比1割増の9万台の計画
- ブラジル
 - ・ 『ASX』(日本名:『RVR』)の現地組立開始(7月)
 - ・ 13年度 販売台数 前年度比1割増の6万6千台の計画



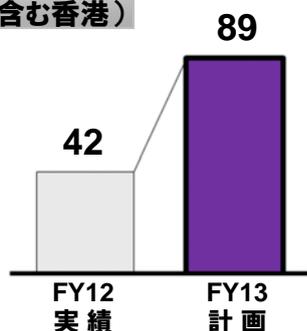
『パジェロスポーツ』



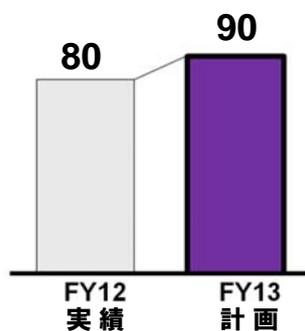
『ASX』

(単位:千台、小売)

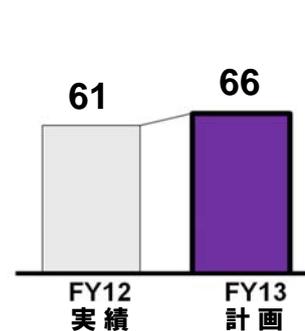
中国
(含む香港)



ロシア



ブラジル



国内生産体制

水島製作所：軽自動車の生産体制強化

- ・新型軽自動車生産に伴う2直化('13年5月～)
- ・コスト競争力を確保するため、車体組立ラインの集約・効率化
4ライン ⇒ 2ライン('14年1月～)
- ・生産台数は前年度比50%増加の34万9千台を計画

名古屋製作所：『アウトランダーPHEV』生産能力増強

- ・PHEV生産の能力増強
2,000台/月 ⇒ 4,000台/月('13年9月～)
- ・PHEV用電池・モーター搭載作業をサブラインからメインラインへ集約

パワートレイン製作所：クリーンディーゼルエンジン生産能力増強

- ・ピックアップ次期車用クリーンディーゼル投入に伴うエンジン部品加工ライン能力増強
6万台/年 ⇒ 12万台/年

パジェロ製造：『デリカD:5』の増産

- ・アセアン地域への『デリカD:5』の輸出

国内販売 軽自動車 商品ラインナップの強化

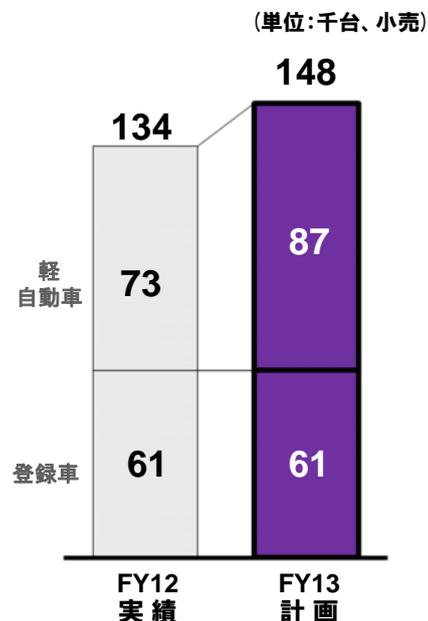
- ・日産とのJ/V(NMKV)が企画/開発した第1弾モデルとして、『eKワゴン』『eKカスタム』を発売予定(6月)
- ・日産との協業による、物流・購買の費用削減
- ・第2弾モデルとして、スーパーハイトワゴンタイプの新型軽自動車を投入予定(2014年初頭)



『eKワゴン』



『eKカスタム』



■ 欧州

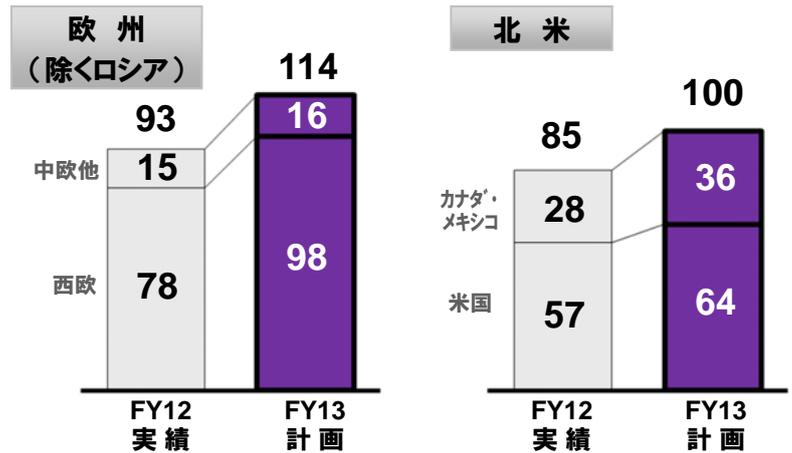
- ・ 新型車(『ミラーージュ』『アウトランダー』『アウトランダーPHEV』)投入による販売拡大
- ・ 欧州生産工場売却による損益改善効果
- ・ 13年度の販売台数は 11万4千台を計画

■ 北米

- ・ 米国では現地生産モデル『アウトランダースポーツ』(日本名:RVR)の輸出拡大
- ・ 新型車(『ミラーージュ』『アウトランダー』)投入による販売拡大
- ・ 13年度の販売台数は10万台を計画



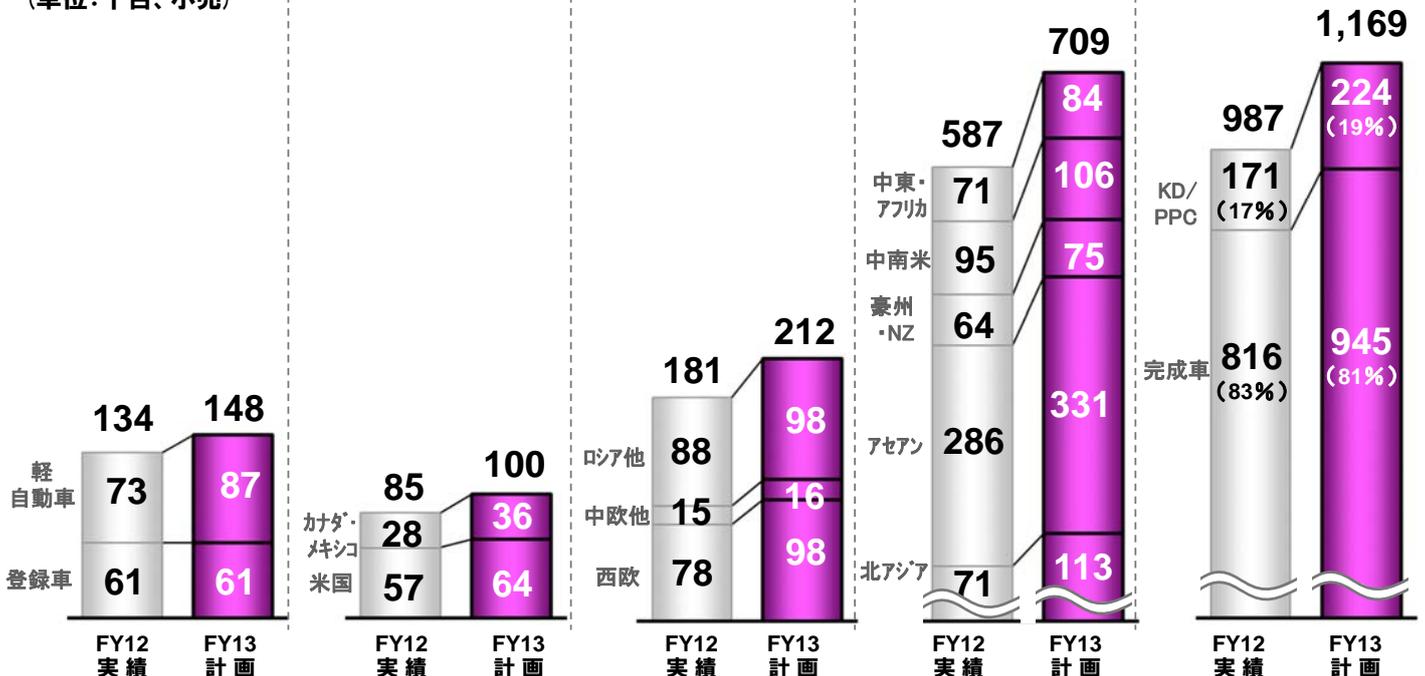
『アウトランダースポーツ』



2013年度地域別販売台数計画【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》 + 14 (+ 10%)	+ 15 (+ 18%)	+ 31 (+ 17%)	+ 122 (+ 21%)	+ 182 (+ 18%)

(単位:千台、小売)



※注) 12年度販売台数実績は速報値。

■ 2012年度実績

欧州債務問題長期化など厳しい事業環境ながらも増収増益

- 販売台数(小売) 987千台 前年度比 1%減少
- 販売台数(卸売) 1,120千台 前年度比 4%増加
- 売上高 1兆8,151億円 前年度比 78億円増収
- 損益 営業利益 674億円 前年度比 6%、37億円増益
当期利益 380億円 前年度比 59%、141億円増益

■ 2013年度見通し

新型車投入とグローバル展開で販売台数増、増収増益を目指す

- 販売台数(小売) 1,169千台 前年度比 18%増加
- 販売台数(卸売) 1,363千台 前年度比 22%増加
- 売上高 2兆2,700億円 前年度比 25%増収
- 損益 営業利益 1,000億円 前年度比 48%、326億円増益
当期利益 500億円 前年度比 32%、120億円増益

添付資料



『アウトランダーPHEV』

2012年度業績サマリー【四半期推移】

(単位: 億円, 千台)

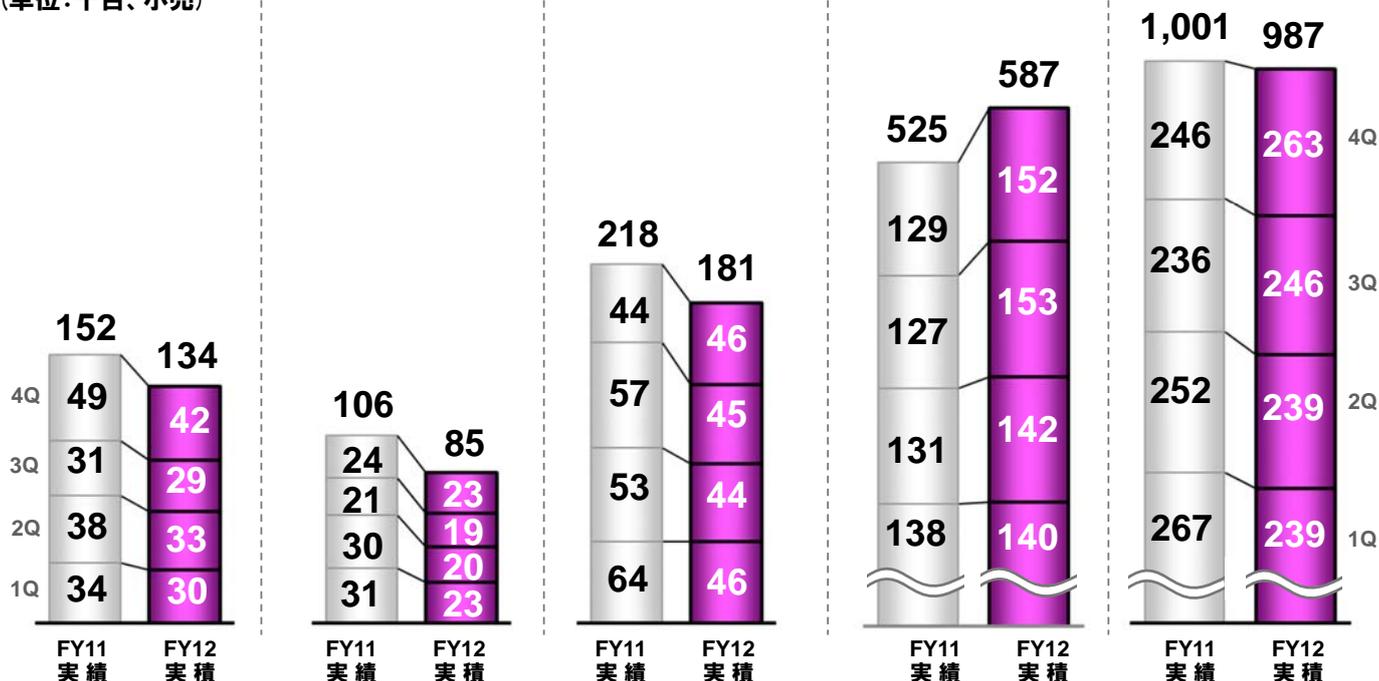
	FY12 1Q ('12/4-6)	FY12 2Q ('12/7-9)	FY12 3Q ('12/10-12)	FY12 4Q ('13/1-3)	FY12 通期 ('12/4-'13/3)
売上高	4,193	4,407	4,226	5,325	18,151
営業利益	149	159	101	265	674
経常利益	142	174	208	415	939
当期利益	200	101	-128	207	380
販売台数(小売)	239	239	246	263	987
販売台数(卸売)	258	277	269	316	1,120
うち OEM台数等	(22)	(23)	(17)	(17)	(79)
為替レート	実績	実績	実績	計画 実績	実績
米ドル	80	79	80	86 90	82
ユーロ	106	98	101	115 120	105
豪ドル	82	81	83	90 93	85
タイバーツ	2.56	2.51	2.64	3.05 3.11	2.70

※注) 12年度販売台数実績は速報値。

2012年度地域別販売台数実績【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
- 18 (- 12%)	- 21 (- 20%)	- 37 (- 17%)	+ 62 (+ 12%)	- 14 (- 1%)

(単位: 千台、小売)



※注) 12年度販売台数実績は速報値。

2012年度 地域別業績【前年度対比】

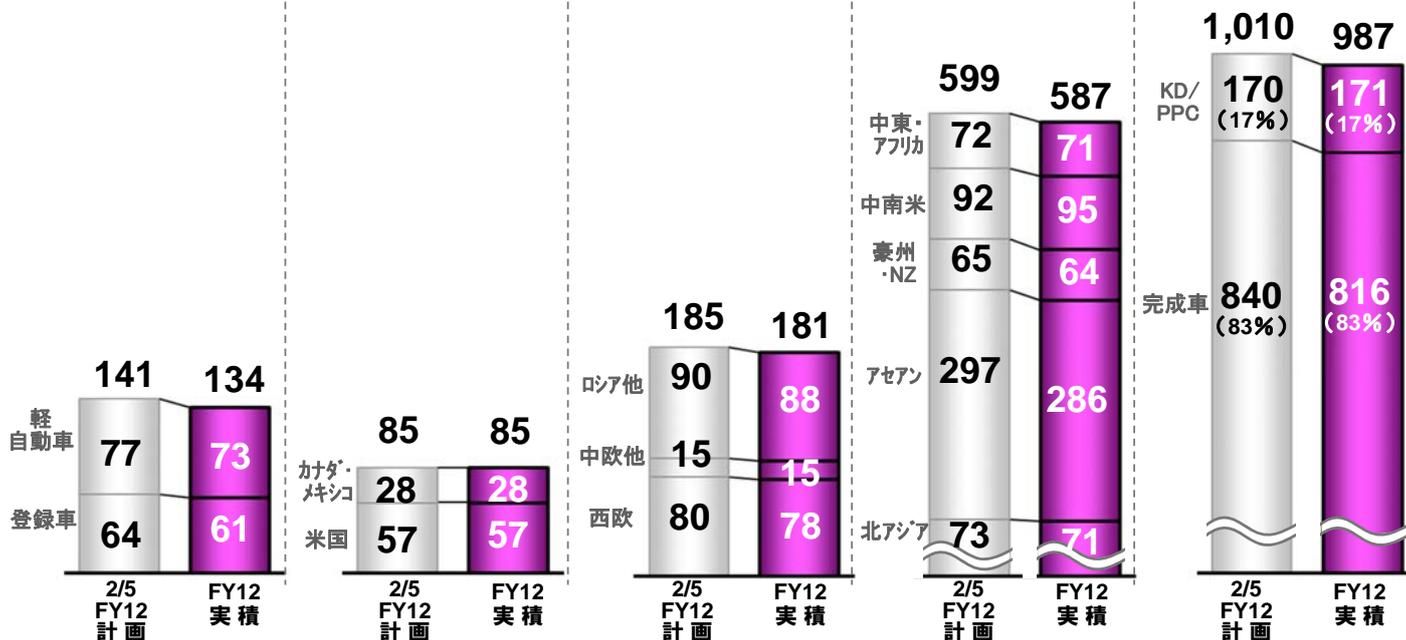
(単位: 億円)

	FY11 実績②	FY12 実績②	増減 ②-①	【参考】 FY12 計画 2/5公表値
売上高	18,073	18,151	+78	18,100
- 日本	3,571	3,295	-276	3,500
- 北米	1,952	1,577	-375	1,500
- 欧州	4,748	4,007	-741	3,800
- アジア・ その他地域	7,802	9,272	+1,470	9,300
営業利益	637	674	+37	640
- 日本	68	-276	-344	-190
- 北米	-262	-200	+62	-210
- 欧州	-156	-70	+86	-180
- アジア・ その他地域	987	1,220	+233	1,220

2012年度 地域別販売台数【2/5計画対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《2/5公表値対比増減》				
- 7 (- 5%)	± 0 (± 0%)	- 4 (- 2%)	- 12 (- 2%)	- 23 (- 2%)

(単位: 千台、小売)



※注) 12年度販売台数実績は速報値。

2012年度業績サマリー【2/5計画対比】

(単位: 億円, 千台)

	FY12 2/5公表値①	FY12 実績②	増減 ② - ①
売上高	18,100	18,151	+ 51
営業利益	640	674	+ 34
経常利益	620	939	+ 319
当期利益	130	380	+ 250
販売台数(小売)	1,010	987	- 23
販売台数(卸売)	1,121	1,120	- 1
うち OEM台数等	(78)	(79)	(+ 1)

主な増減内訳

- ・台数・車種構成等販売費 : - 38
- ・為替 : + 26
- ・資材費等コスト低減他 : + 46

※注) 12年度販売台数実績は速報値。

2013年度業績見通しサマリー【12年度/13年度、上期/下期別】

(単位: 億円, 千台)

	FY2012			FY2013		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期計画	下期計画	通期計画
売上高	8,600	9,551	18,151	10,000	12,700	22,700
営業利益	308	366	674	360	640	1,000
経常利益	316	623	939	340	560	900
当期利益	301	79	380	190	310	500
販売台数(小売)	478	509	987	544	625	1,169
販売台数(卸売)	535	585	1,120	597	766	1,363
うち OEM・共同開発車等	(45)	(34)	(79)	(85)	(122)	(207)

※注) 12年度販売台数実績は速報値。

(単位: 億円)

	FY12 実績①	FY13 見通し②	増減 ②-①
売上高	18,151	22,700	+4,549
- 日本	3,295	4,700	+1,405
- 北米	1,577	2,100	+523
- 欧州	4,007	5,100	+1,093
- アジア・ その他地域	9,272	10,800	+1,528
営業利益	674	1,000	+326
- 日本	-276	-150	+126
- 北米	-200	-40	+160
- 欧州	-70	200	+270
- アジア・ その他地域	1,220	990	-230

2013 年ジュネーブモーターショー コンセプトカー

第83回ジュネーブ国際自動車ショーに、三菱独自の次世代先進技術「@earthTECHNOLOGY」を具現化した2台のコンセプトカーを参考出品



MITSUBISHI Concept GR-HEV

『MITSUBISHI Concept GR-HEV』は、『トライトン』で好評のセダンやSUV 並みの快適性とピックアップトラックの機能を併せ持ったスポーツ・ユーティリティ・トラック (SUT) のコンセプトをベースとし、環境性能と走行性能を更に進化させたコンセプトカー

『MITSUBISHI Concept CA-MiEV』は、2009年に世界に先駆けて量産型電気自動車『i-MiEV(アイ・ミーブ)』を発売した三菱自動車提案する、将来のEVを想定したコンセプトカー

MITSUBISHI Concept CA-MiEV



第34回バンコク国際モーターショーに
新世代コンパクトセダンのコンセプトカー『MITSUBISHI Concept G4』を参考出品

『MITSUBISHI Concept G4』は、世界展開を計画する
新世代コンパクトセダンのコンセプトモデル。

透明度が高く輝きを引き立たせる
ダイヤモンドカットをモチーフとし
たフロントグリル、ヘッドランプ、リ
ヤコンビランプを採用。
精悍で存在感のあるフロントデザ
イン、走り去る後姿が印象的なリ
ヤデザインとした。

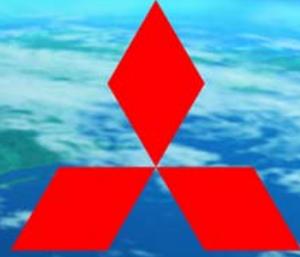


『MITSUBISHI Concept G4』

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS